

第三次三浦市子ども読書活動推進計画
～広げよう！三浦の読書の輪～

令和4年3月

三浦市教育委員会

目 次

第 1 章	第三次三浦市子ども読書活動推進計画策定に向けて	1
1. 1	子どもにとっての読書活動の意義	1
1. 2	子ども読書活動をめぐる国・神奈川県の動向	2
1. 3	三浦市の動向	4
第 2 章	三浦市における子ども読書活動をめぐる状況	6
2. 1	三浦市の子ども読書活動の特徴	6
2. 2	第二次三浦市子ども読書推進計画の成果と課題	9
第 3 章	第三次計画の基本的な考え方	13
3. 1	第三次計画の目的	13
3. 2	第三次計画の基本方針	14
3. 3	計画の期間	16
第 4 章	第三次計画推進のための取組	17
4. 1	家庭における子ども読書活動推進の取組	17
4. 2	地域における子ども読書活動推進の取組	18
4. 3	学校における子ども読書活動推進の取組	19
4. 4	その他の取組	21
第 5 章	第三次計画の推進に向けて	23
5. 1	成果指標	23
	第三次三浦市子ども読書活動推進計画スケジュール	24

第 1 章 第三次三浦市子ども読書活動推進計画策定に向けて

1. 1 子どもにとっての読書活動の意義

子ども^{※1}の読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことのできないものです。

また、本を読み深めることによって、自ら学ぶ楽しさや知る喜びを体得し、更なる探求心が培われます。

このように、読書活動は子どもたちが成長していく過程で、大変重要な役割を担っています。

しかし、近年、スマートフォンの普及や SNS 等のコミュニケーションツールの多様化等、子どもを取り巻く情報環境が大きな変化を見せており、子どもの読書環境に大きな影響を与えている可能性があります。

こうした状況を踏まえ、子どもの読書活動の推進が社会全体で取り組まれるよう、体制を整備していくことが必要です。

本市では、「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき、平成 21 年 2 月に「三浦市子ども読書活動推進計画」を、そして平成 28 年 3 月に「第二次三浦市子ども読書活動推進計画」を策定し、家庭・地域・学校の連携や協力により、読書活動の推進を図ってきました。この度、国・県の動向や時代の変化を踏まえ、令和 4 年度から 5 年間の計画期間とする「第三次三浦市子ども読書活動推進計画」を策定しました。

この計画に基づき、家庭、地域、学校等が一体となり、子どもの読書への関心を高める取組を推進することにより、未来を担う子どもたちが健やかに成長していくことができるよう、読書環境の整備・充実に努めていきます。

※1 子ども…0 歳から概ね 18 歳までの者

1. 2 子ども読書活動をめぐる国・神奈川県の変遷

子どもの読書活動をめぐる国及び神奈川県の主な変遷は、次のとおりです。

年 月	国	県	内 容
平成13年12月	○		「子どもの読書活動の推進に関する法律」の公布・施行
平成14年 8月	○		「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」の策定
平成16年 1月		○	「かながわ読書のススメ～神奈川県子ども読書活動推進計画～」の策定
平成17年 7月	○		「文学・活字文化振興法」の公布・施行 ・学校教育において、読む力、書く力及び言語力の涵養についての規定
平成18年12月	○		「教育基本法」の改正 ・「幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培う」ことを目標に規定
平成19年 6月	○		「学校教育法」の改正 ・(平成18年の教育基本法の改正を受け)「読書に親しませ、生活に必要な国語を正しく理解し、使用する基礎的な能力を養う」ことを目標に規定
平成20年 3月	○		「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」(第二次)の策定 学習指導要領の告示(小学校・中学校) ・言語活動の充実を図ることとし読書活動の充実を規定 幼稚園教育要領の告示 保育所保育指針の告示
平成20年 6月	○		「図書館法」の改正 ・司書の資格要件の見直し ・司書等の資質向上のための研修の実施についての規定
平成21年 3月	○		学習指導要領の告示(高等学校・特別支援学校) ・言語活動の充実を図ることとし読書活動の充実を規定
平成21年 7月		○	「かながわ読書のススメ～第二次神奈川県子ども読書活動推進計画～」の策定

年 月	国	県	内 訳
平成22年	○		「国民読書年」の取組（平成20年6月 国会決議）
平成25年 5月	○		「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」（第三次）の策定
平成26年 4月		○	「かながわ読書のススメ～第三次神奈川県子ども読書活動推進計画～」の策定
	○		幼保連携型認定こども園教育・保育要領の告示
平成26年	○		学校図書館法の改正 <ul style="list-style-type: none"> ・専ら学校図書館の職務に従事する職員としての学校司書の法制化 ・学校司書への研修等の実施について規定
平成29年 3月	○		学習指導要領の告示（小学校・中学校） <ul style="list-style-type: none"> ・総則において学校図書館の利活用や読書活動の充実を規定 幼稚園教育要領の告示 保育所保育指針の告示 幼保連携型認定こども園教育・保育要領の改正
平成29年 4月	○		特別支援学校学習指導要領の告示（小学部・中学部） <ul style="list-style-type: none"> ・総則において学校図書館の利活用や読書活動の充実を規定 特別支援学校教育要領の告示（幼稚部）
平成30年 3月	○		学習指導要領の告示（高等学校） <ul style="list-style-type: none"> ・総則において学校図書館の利活用や読書活動の充実を規定
平成30年 4月	○		「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」（第四次）の策定
平成31年 3月		○	「かながわ読書のススメ～第四次神奈川県子ども読書活動推進計画～」の策定

1. 3 三浦市の動向

子どもの読書活動をめぐる本市の主な動向は、次のとおりです。

年 月	内 容
平成 21 年 2 月	「三浦市子ども読書活動推進計画～広げよう！三浦の読書の輪～」を策定
平成 22 年 10 月	<ul style="list-style-type: none"> ・三浦市のホームページ内に「～広げよう！三浦の読書の輪～」を開設 ・ブックリスト「おすすめの本」を作成
平成 23 年 5 月	ブックリスト「おすすめの本」を更新
11 月	ブックリスト「おもしろかった本」を作成
平成 24 年 6 月	講座「はじめての読み聞かせ～ゆたかなこころをそだてる絵本～」を開催
平成 25 年 9 月	ブックリスト「おすすめの本」を更新
12 月	講座「絵本作家・平田昌広と平田景による初めての読み聞かせ講座 & ミニメオト読みライブ」を開催
平成 26 年 2 月	<ul style="list-style-type: none"> ・講座「学校図書館・読書ボランティア対象研修会 学校にさわやかな風が吹く」を開催 ・ブックリスト「おもしろかった本」を更新
6 月	学校図書館ボランティア講座（以後毎年開催）「～子どもと本をつなげよう～」開催
11 月	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせ講座「紙芝居のまほうつかいと物語の世界～親子で本を楽しむために～」を開催。 ・ブックリスト「おすすめの本その2」を作成 ・ブックリスト「おすすめの本」を更新 ・ブックリスト「おもしろかった本」を更新
平成 27 年 6 月	講座「①学校図書館ボランティア基礎講座 ②図書整備基礎講座 ③読み聞かせ基礎講座」を開催（以後毎年開催）

年 月	内 容
平成 27 年 6 月 と 12 月	みまぐっこ（子ども課主催の三浦市育児教室）で、乳児とその保護者に対し、読み聞かせボランティアによる絵本読み聞かせ体験講座を実施（以後毎年開催）
8 月	保育園・幼稚園の先生のおすすめの本アンケートの実施
平成 28 年 3 月	「第二次三浦市子ども読書活動推進計画～広げよう！三浦の読書の輪～」を策定
11 月	<ul style="list-style-type: none"> ・三浦市図書館に YA（ヤングアダルト）コーナー創設 ・三浦市小中学生読書感想文展覧会初開催 （以後令和元年迄毎年開催） ・みうらっ子ライブラリー おはなし会初開催 （以後令和元年迄毎年開催）
平成 29 年 4 月	三浦市小学生読書感想画展覧会初開催 （以後令和元年迄毎年開催）
平成 30 年 11 月	ブックリスト「おもしろかった本」を更新
平成 31 年 1 月	ボランティア向け「読み聞かせブックリスト」を作成
令和 2 年 11 月	三浦市小中学生読書感想画・感想文展覧会の同時開催 （以後毎年開催）



みまぐっこ（子ども課主催）読み聞かせボランティア
による絵本読み聞かせ体験講座

第 2 章 三浦市における子ども読書活動をめぐる状況

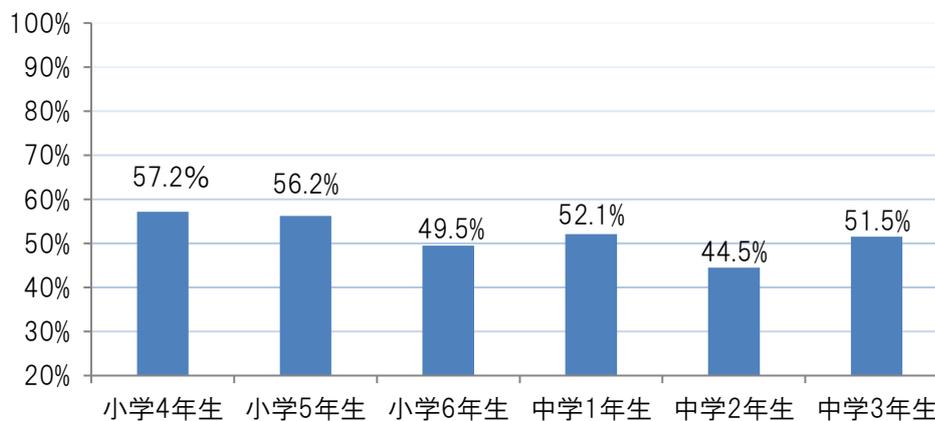
2. 1 三浦市の子どもの読書活動の特徴

令和元年 11 月 21 日から令和 2 年 1 月 16 日にかけて小学 4 年生から小学 6 年生、中学生、保育園・幼稚園の職員、2 歳児歯科健診に来ていた乳幼児の保護者を対象として実施した「令和元年度 三浦市の子どもの読書実態調査」などから下記のような特徴がわかりました。

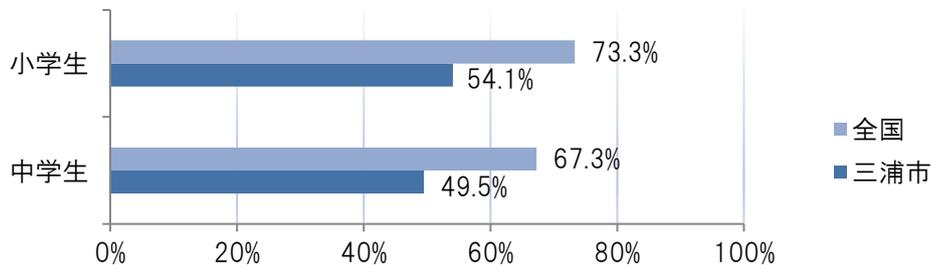
○ 本市の子ども読書活動の状況については、小学校では学年が上がるごとに「本を読むのが好き」と回答している子どもの割合が減少しています。中学校に上がった段階で少し増加しますが、中学 2 年生の時点でまた減少します。【図表 1】

また、「本を読むのが好きという児童・生徒の割合」が、全国平均に比べ低い状況にあります。【図表 2】

図表 1 「あなたは、本を読むのが好きですか。」の問いに対し、「とても好き」もしくは「好き」と回答した児童・生徒の割合



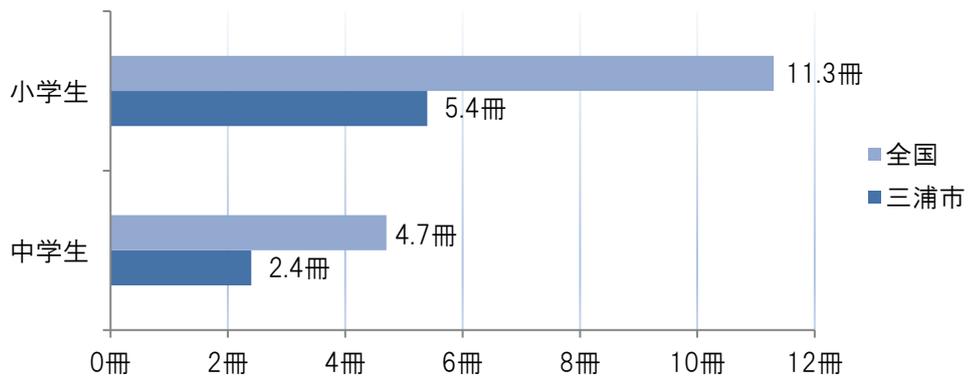
図表2 「本を読むのが好きという児童・生徒の割合」の全国比較



※全国値は、『平成 30 年度文部科学省委託調査・子供の読書活動の推進等に関する調査研究報告書』によります。

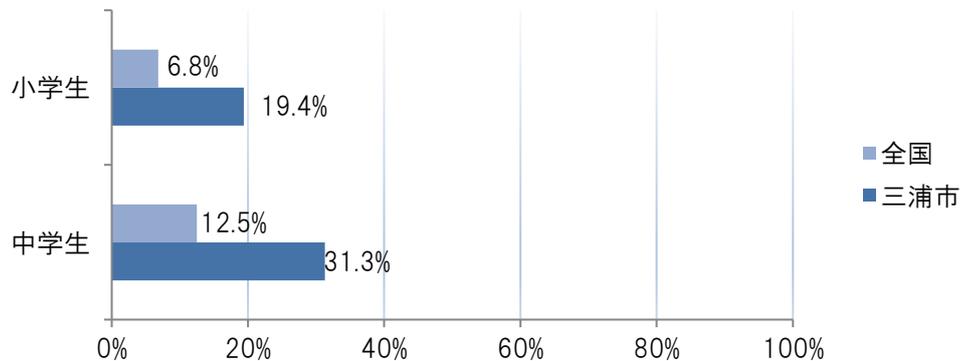
- 平均読書冊数は全国平均に比べ低く、「1 か月に 1 冊も本を読まないという児童・生徒の割合」は全国平均に比べ高い状況にあります。【図表3】【図表4】

図表3 「1 か月の平均読書冊数、児童・生徒の割合」の全国比較



※全国値は、全国学校図書館協議会と毎日新聞社が令和元年度に共同実施した『第 65 回読書調査』によります。

図表4 「1か月に1冊も本を読まない児童・生徒の割合」の全国比較



※全国値は、全国学校図書館協議会と毎日新聞社が令和元年度に共同実施した『第65回読書調査』によります。

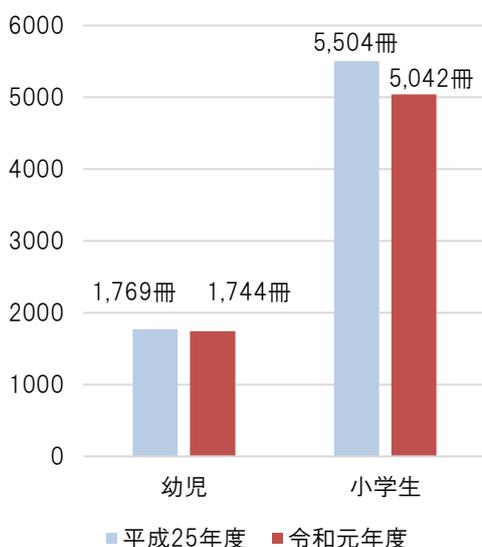
- 小学校・中学校の全ての学校で読書啓発活動を実施しています。また、多くの学校図書館ボランティア^{※2}が読み聞かせや学校図書館^{※3}の整備を行っています。
- 小学校から中学校へと進学すると、本を読む以外の学校図書館の利用の割合が増加しています。
- 平成25年度は朝の読書活動を小学校では8校中5校、中学校では4校中3校実施していましたが、令和元年度は小学校では8校中6校で実施、中学校では3校中2校の実施となりました。
- 市内7カ所の保育園・幼稚園の全てで読み聞かせを実施しています。
- 今回調査した128人のうち74.2%と過半数の家庭で読み聞かせが実施されました。また、多くの児童・生徒は家族に本を読むことをすすめられています。
- 三浦市図書館の令和元年度における本の貸出冊数は、幼児に対しては1,744冊、小学生に対しては5,042冊でした。この数値は平成25年度と比較すると幼児では25冊、小学生では462冊減少しています。(平成25年度と比較すると、令和元年度の幼児の数は478人減、小学生の数は522人減となっています。)【図表5】

※2 学校図書館ボランティア…学校の読書活動（読み聞かせ、図書整備など）にかかわるボランティア。

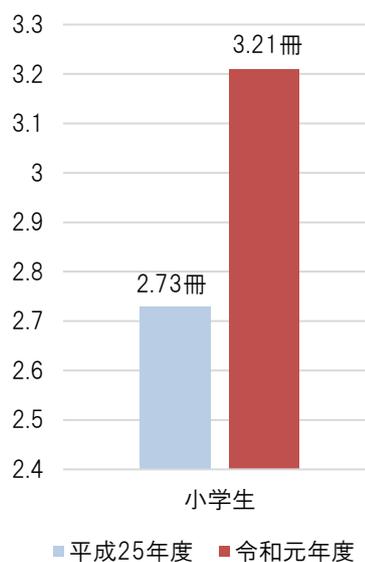
※3 学校図書館…学校に設置されている図書館。

また、小学生一人当たりの貸出冊数^{※4}は 3.21 冊であり、増加しています。【図表 6】（令和元年度地区別利用冊数統計より）

図表5 三浦市図書館の年間貸出冊数



図表6 三浦市図書館の1人当たりの年間貸出冊数



2. 2 第二次三浦市子ども読書活動推進計画の成果と課題

（平成 28 年 3 月～令和 3 年 3 月）

① 家庭における子ども読書活動推進

成果

- ・家庭における読み聞かせ実践のための契機となるよう、乳幼児向け読み聞かせ講座を開催しました。参加者からは、「とても興味を持つことができました。」といった意見をいただきました。
また、乳幼児の保護者に対してブックリストの配布を行いました。

今後の課題

- ・読み聞かせを定着させるために、引き続き「読み聞かせイベント」を開催するとともに、年齢に応じた読み聞かせの実施について検討する必要があります。

^{※4}小学生ひとり当たりの貸出冊数…年間貸出冊数（小学生）を令和2年3月25日現在市内全児童数（1,572人）で割ったものです。

② 地域における子ども読書活動推進

成果

- 図書館において毎月数冊児童書及び絵本を購入しています。
 - ◆令和元年度の年間図書購入冊数 309 冊のうち 78 冊は児童書です。
- 図書館に、YA（ヤングアダルト）※⁵コーナーを創設しました。
- 児童向け図書を、ホームページ「広げよう！三浦の読書の輪」で紹介しました。
- 図書館で「みうらっ子ライブラリー おはなし会」を開催しました。
- 図書館にブックリストを配架し、子どもや保護者に対し情報提供をしました。

今後の課題

- 子供たちが今よりも読書をしたくなるような、好みに合わせた様々なジャンルの図書の配架を進めます。
- 図書館を利用しやすくするために、希望する子どもに対する図書館の見学及び利用説明を実施します。

③ 学校における子ども読書活動推進

成果

- 学校図書館ボランティア向けの研修講座を開催しました。
- 子ども読書に係るイベントやボランティア研修の情報を、学校を通じて学校図書館ボランティアに提供し、活動に活かしてもらいました。
- 学校図書館にブックリストを配架しました。
- ブックリスト「おもしろかった本」のアンケート調査を学校図書館でも実施しました。
- 学校図書館ボランティアの活動について、関係部署との意見交換を行い、学校

※⁵YA(ヤングアダルト)…アメリカで 13 歳から 19 歳までの世代の人たちに対して使われている言葉で、「若いおとな」という意味です。

の授業と連携させられないか、という提案をいただきました。

- ・小中学生読書感想文展覧会と小学生読書感想画展覧会を実施しました。

今後の課題

- ・授業に興味をもってもらえるような、授業と連動した読み聞かせイベントの実施や、学校図書館のレイアウトを工夫します。
- ・読書感想画は読書に親しむ機会を増やす貴重な契機となっていますが、現在は三浦市内で読書感想画を作成しているのは小学生のみとなっているため、中学生にも読書感想画作成の魅力を伝えます。

④ その他の取組

子ども読書の日及び読書週間を中心とした普及・啓発活動

成果

- ・「ファミリー読書の日」、「文字・活字文化の日」、「子ども読書の日^{※6}」及び「読書週間^{※7}」を中心とした読書の普及・啓発を行いました。「子ども読書の日」及び「読書週間」に合わせ、「三浦市民」に記事を掲載しました。
- ・ホームページ「～広げよう！三浦の読書の輪～」を開設し、ブックリスト「おすすめの本」及び「おもしろかった本」を公表する等、更なる活用を行いました。

今後の課題

- ・情報化社会に即した形の子ども読書活動推進を行うため、「～広げよう！三浦の読書の輪～」をはじめとするオンラインツールを、子ども読書に関する情報提供の手段として一層活用する取組が必要です。

^{※6} 子ども読書の日…平成13年12月に制定された「子ども読書活動の推進に関する法律」において、国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるために、4月23日が「子ども読書の日」と定められた。

^{※7} 読書週間…毎年10月27日～11月9日。文化の日を中心とする2週間として定められた。

子ども読書活動に関わるボランティア活動推進

成果

- 学校図書館ボランティアの資質向上を図るため、ブックトークイベント、読み聞かせ講座、本の修理講座及び蔵書の整理講座等を実施しました。
- ボランティア向けに「読み聞かせブックリスト」を作成し、公表しました。
- 既存のボランティアが活躍できる新たな活動の場の検討を行い、ボランティアからの意見聴取を行いました。

今後の課題

- 地域一丸となって子ども読書活動推進を行うため、学校図書館ボランティアだけでなく、地域の方に対してボランティア活動への協力を依頼することが必要です。
- 新規の読み聞かせ会など、図書ボランティア^{※8}の新たな活動の場の提示をします。

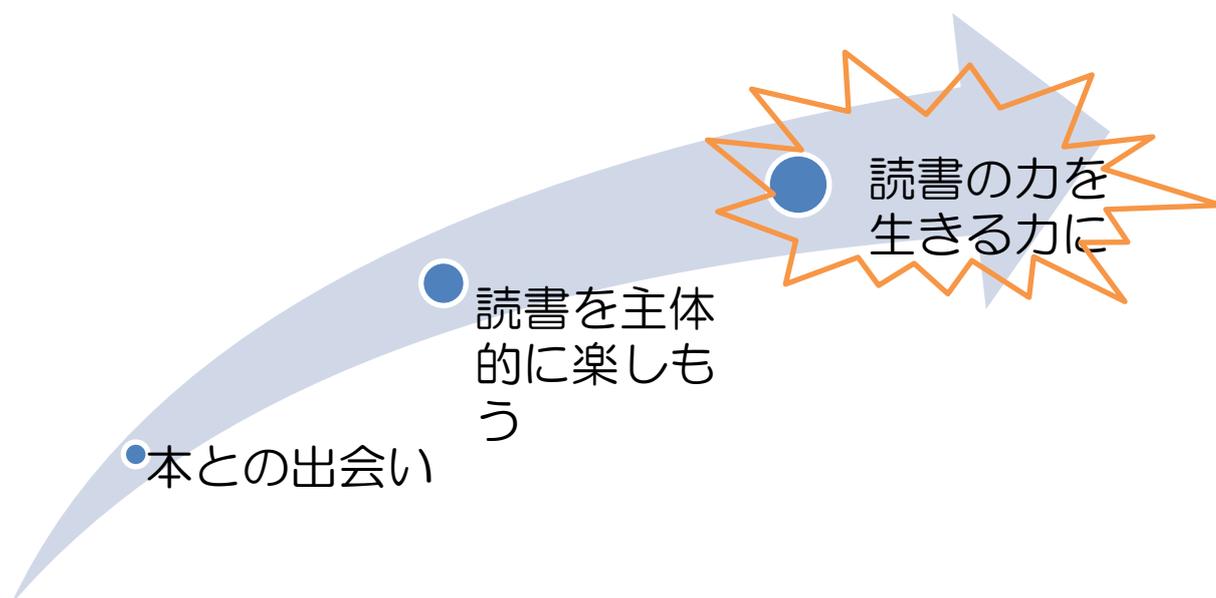
※8 図書ボランティア…読書活動（読み聞かせ、図書整備など）にかかわるボランティア。

第3章 第三次計画の基本的な考え方

3.1 第三次計画の目的

人の力で読書の力を生きる力にできる子どもたちをはぐくもう

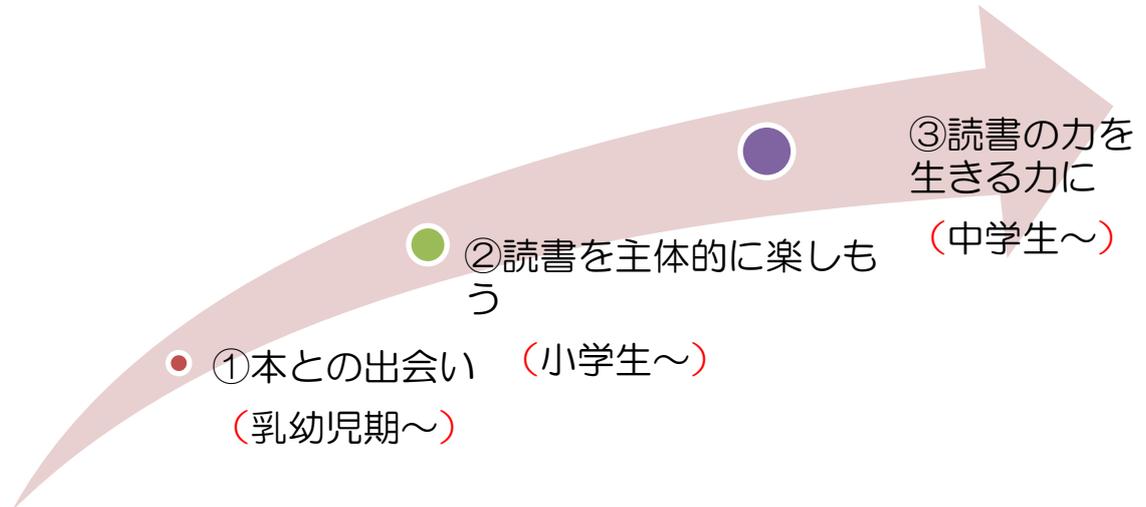
本には、多種多様な種類があり、その中には先人の叡智と未知の世界が溢れています。一冊の本が人生を変えることもあり、「自分は読書嫌いだ」と誤解したまま生きていく子どもがいるのはとても勿体ないことです。本に親しむための人材育成や環境づくりを行い、子どもたちが自分の人生を豊かにしてくれる本に出会える環境作りを目指します。



- 本との出会い
すべての小学校で読み聞かせボランティアが活動しており、子どもたちが本を読むきっかけづくりを行っています。
より多くの子が本に出会うためのきっかけづくりや環境整備が望まれます。
- 主体的に読書を楽しもう
自ら本を読むという読書習慣を身につけられるような環境を整えることが望まれます。
- 読書の力を生きる力に
本から言葉や知識等の様々なことを学び、思考力・判断力・表現力等の力を養い、人生をより深く生きる力を身につけることが望まれます。

3. 2 第三次計画の基本方針

(1) 子どもが本に親しむための発達段階に応じた環境づくり



① 乳幼児期～

赤ちゃんは、自分では本を読むことができません。赤ちゃんが本に出会うためには、大人の力が不可欠です。本を読んでもらっていても内容を理解できていないかもしれませんが、愛情をこめて本を読んでもらうことで、愛情を感じるだけでなく、本の楽しさを感じとることができます。

本計画では、赤ちゃんが本を好きになるきっかけづくりを進めていきます。

② 小学生～

小学生になると子どもたちは、言葉をたくさん学び、自ら読書への関心を高めていきます。読み聞かせなどで本を読んでもらうというだけでなく、その本を自分で読んでみたり、疑問に思ったことを大人と一緒に図書館に行って、調べてみたりすることで、読書に親しむことができます。主体的に読書を楽しむことで、読書の楽しみ方や活用の仕方がわかり、読書の世界が広がっていきます。

本計画では、図書館における図書や取組の充実を図り、読書活動がしやすい環境づくりを進めていきます。

③ 中学生～

中学生になると子どもたちは、大人に近い考え方を持つようになるとともに、学校や部活、友達関係など様々な人々との関わりを持つようになります。様々な人と接し、本を読むことは、「考える力」を養うことにつながります。多角的な視点を培うことは、自分を形成する糧になりますので、本計画では、子どもたちがさまざまな本に触れるきっかけになるように、ブックトークイベントの開催やブックリストの作成を進めていきます。

(2) 家庭、地域、学校の連携



ア 家庭における子どもの読書活動の推進

「子どもが家で身につけたことは、生涯、ずっと生き続ける」（文部科学省『家庭教育手帳 乳幼児編<ドキドキ子育て>』より）とされています。家庭は、子どもにとって、社会を生きるための基礎を育むための重要な場所です。また、読み聞かせなど親子で本に接し、一緒に共感しあうひとときは、子どもの感性や心を豊かにする貴重な時間であり、子どもだけでなく、親子で本に親しむことができます。

そこで、家庭での読み聞かせの契機とするため、読み聞かせイベントの開催を進めていきます。

イ 地域における子どもの読書活動の推進

図書館は、地域における子どもの読書活動を推進するうえで、重要な役割を担っています。親子で、本を楽しむことができる施設でもあります。また、多様な読書関連イベントが行われていて、子どもたちが本を楽しむことができます。

そこで、子どもたちに更に図書館を利用してもらえるよう、蔵書の充実を目指し、より親しみやすい図書館作りを進めていきます。

ウ 学校における子どもの読書活動の推進

学校は就学後の子どもたちが一日のうち多くの時間を過ごす場所であり、子どもの読書活動を支援するうえで大きな役割を担っています。子どもたちは、学校図書館の利用や、朝の一斉読書、学校図書館ボランティアによる読み聞かせ等、様々な形で本に触れ合っています。また、読書感想画・読書感想文展覧会をはじめとする、市の取組もその一翼を担っています。

学校図書館ボランティアが更に活躍の幅を広げられるよう、多様なテーマの学校図書館ボランティア講座等の開催やブックリストの提供を進めていきます。

3. 3 計画の期間

策定から概ね5年間

第 4 章 第三次計画推進のための取組

4. 1 家庭における子ども読書活動推進の取組

乳幼児期は「絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像をする楽しさを味わう【幼稚園教育要領】とあるように、言葉を覚え始めるなど、本と出会う重要な時期です。

調査を行った128人のうち95人、74.2%の家庭で読み聞かせが実施されています。また、読み聞かせを行っている家庭の58.9%は子どもが1歳になる前から読み聞かせを行っています。【図表7】（令和元年度 三浦市の子どもの読書実態調査より）

今後も、乳幼児をもつ家庭に対し、読書や親子のコミュニケーション方法の一つである読み聞かせの重要性を理解していただき、家庭における読み聞かせや読書活動等がより一層活発になることを目指します。なお、この計画は三浦市子ども・子育て支援事業計画の中の一つに含まれています。

図表7 子どもに読み聞かせを始めた時期



具体的な取組

○ 乳幼児向け読み聞かせ講座の開催

乳幼児とその保護者を対象とした講座を開催します。従来の0歳児を対象とした講座だけでなく、1歳児、2歳児、3歳児それぞれを対象とした講座を開催することで、家庭における読み聞かせのさらなる促進を図ります。

○ 乳幼児の保護者に対してブックリストの配布の継続

引き続き、おすすめの本から乳幼児向けの本を抜粋し、健診の際に配布するリーフレット内に掲載することで、子どもが本に親しむことの大切さについての理解を促します。

○ 小中学生や親子を対象にした読み聞かせ講座の開催

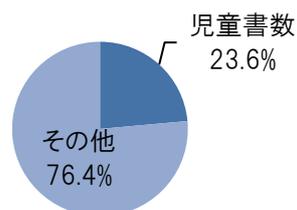
夏休み等を利用し、学校図書館ボランティア講座の番外編として、親子で参加できる読み聞かせ講座を開催します。その際、希望する保護者の方に実際に読み聞かせに挑戦していただき、また、子どもたちにも本の朗読に挑戦していただいたりするほか、講師からアドバイスをもらいながら、読み聞かせを好きになってもらうことを目指します。

4. 2 地域における子ども読書活動推進の取組

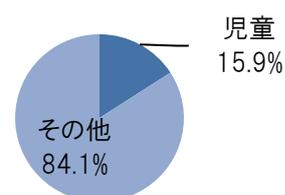
三浦市には3館の図書館があります。2020年4月現在、全図書館の蔵書数（『神奈川の図書館 2020』）の合計67,690冊に対し、児童書数は15,942冊で23.6%を占めています。また、年間の総貸出件数42,697冊に対し、児童に対する貸し出しは6,786冊で15.9%を占めています。【図表8】【図表9】

令和元年度三浦市図書館利用者満足度調査によると、「現在の三浦市図書館を総合的に評価するとどのように思いますか」という質問に対し、「満足」、「おおむね満足」と回答している割合が71%となっています。より多くの子どもたちやその保護者の方々が図書館を訪れていただけるよう図書の整備や取組を進めます。

図表8 蔵書における児童書の占める割合（令和元年度）



図表9 貸出における児童の占める割合（令和元年度）



※『神奈川の図書館 2020』によります。

具体的な取組

○ 継続した児童向けの本の購入

子ども向けの図書を増加させることにより、図書館を利用する子どもの増加を図ります。

○ YA（ヤングアダルト）コーナーの充実

中学生の図書館での一人当たりの貸出冊数が小学生に比べて少ないため、YA(ヤングアダルト)コーナーの内容について、中学校の学校図書館にて周知し、図書館を利用する中学生以上の増加を図ります。

○ 児童向けの購入図書ホームページ「広げよう！三浦の読書の輪」で紹介

児童向けの購入図書の情報を周知することで、子どもや図書ボランティアの図書館の利用が促進されるよう、ホームページの更なる充実を目指します。

○ 図書館へのブックリストの配架

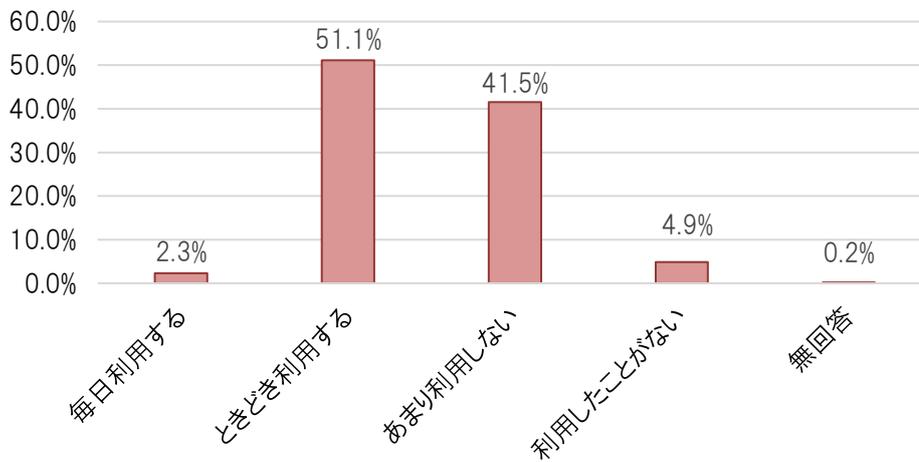
図書館に配架することで、読書に親しむきっかけとし、本を選択するための参考になるようにします。

4. 3 学校における子ども読書活動推進の取組

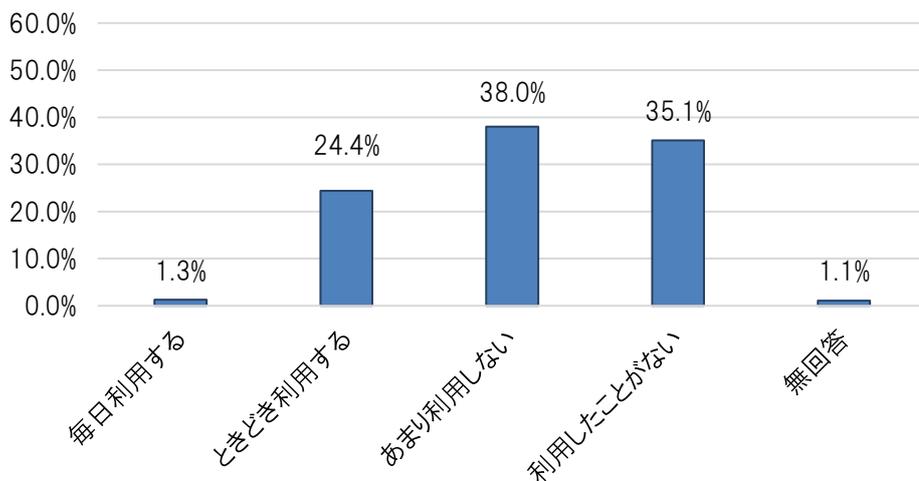
学校図書館は、子どもたちにとって一番身近にある図書館です。三浦市の小学生の53.4%が学校図書館を「毎日利用する」または「ときどき利用する」と回答しています。中学生では25.7%の生徒が「毎日利用する」または「ときどき利用する」と回答しています。【図表 10】【図表 11】（令和元年度 三浦市の子どもの読書実態調査より）

子どもたちの日常生活や学習活動における学校図書館の更なる利用に向け、学校図書館ボランティアに対する研修や情報交換の場を設け、学校間を越えた連携を深めるとともに、読書感想画・読書感想文展覧会等のイベントを実施します。

図表10 学校図書館の利用頻度・小学生(4・5・6年生)



図表11 学校図書の利用頻度・中学生(1・2・3年生)



具体的な取組

○ 学校図書館ボランティア向けの研修講座の開催

講座を通して、学校図書館ボランティアのスキルアップを図り、学校間の交流を深めます。これまで取り上げてきたブックトーク、読み聞かせ、本の修理、本の整備等に加え、学校の授業と関連させた活動方法等、新しいテーマでの講座を開催します。

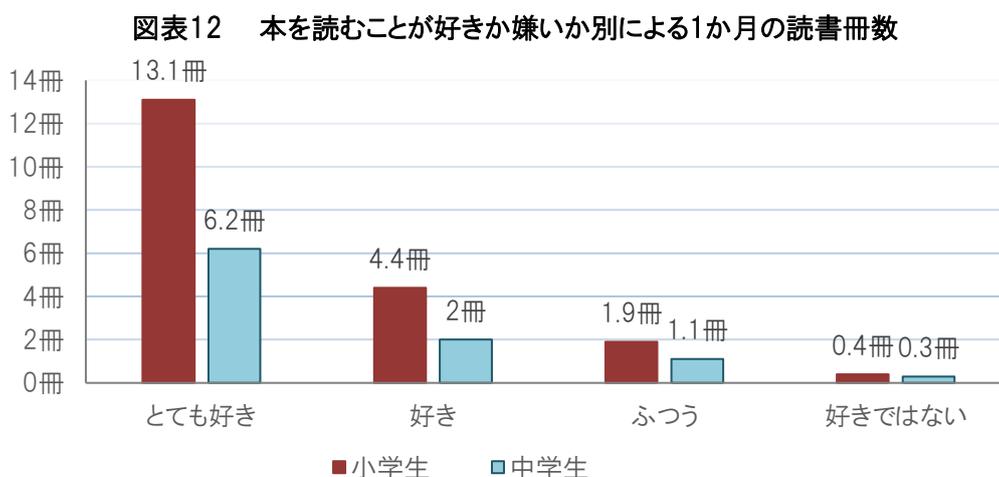
○ 学校図書館ボランティアへの情報提供

ボランティアのスキルアップを図るため、ボランティア研修などの情報を、学校を通じて学校図書館ボランティアに提供します。

- 学校図書館へのブックリストの配架及びリニューアル
探している本が見つけやすく、タイトルや概要だけでも興味を持つことができ、読み聞かせに役立つ情報を掲載するなど、ブックリストをリニューアルし、子どもたちが本に触れる契機となるよう、学校図書館に配架します。
- 子どもたちがどういった本に興味を持っているかなどのアンケート調査の実施
子どもたちに対し、「おもしろかった本」や「こんな本があったら読んでみたい本」等についてアンケートを行い、子どもたちの意見をブックリストに取り入れ、図書の購入の際の参考にすることで、読書のきっかけづくり、読書量の増進に繋がります。
- 読書感想文及び読書感想画展覧会の実施
市の代表として県に出品した子どもたちの作品を「こどもの読書週間」^{※9} や「読書週間」に合わせ市民交流センター等で展示し、その成果を発表します。
また、小学生に対して実施している読書感想画については、中学生の出品も募集し読書を行うきっかけづくりや、読書を親しむ子どもたちが増えるよう取り組んでいきます。

4. 4 その他の取組

「本を読むのが好き」という児童・生徒ほど本を読んでいます。子どもたちが本を好きになるきっかけづくりを目指します。【図表 12】（令和元年度 三浦市の子どもの読書実態調査より）



※9 こどもの読書週間…毎年4月23日～5月10日。こどもの日を含む3週間で定められた。

具体的な取組

- 「ファミリー読書の日」(毎月第1日曜日)、「子ども読書の日」(4月23日)、「文字・活字文化の日」(10月27日) および「読書週間」(10月27日～11月9日) に合わせた普及啓発活動の実施
ウェブサイト「広げよう！三浦の読書の輪」で、図書館の児童書の購入状況などの情報を提供します。

- 図書ボランティア情報の提供
(例) 図書ボランティア情報ナビ(仮称)
ボランティアの活動の場を広げるとともに、読書活動の推進を支援するため、図書ボランティアを必要としている関係機関に対し、図書ボランティア情報ナビ(仮称)を作成して、情報を提供します。

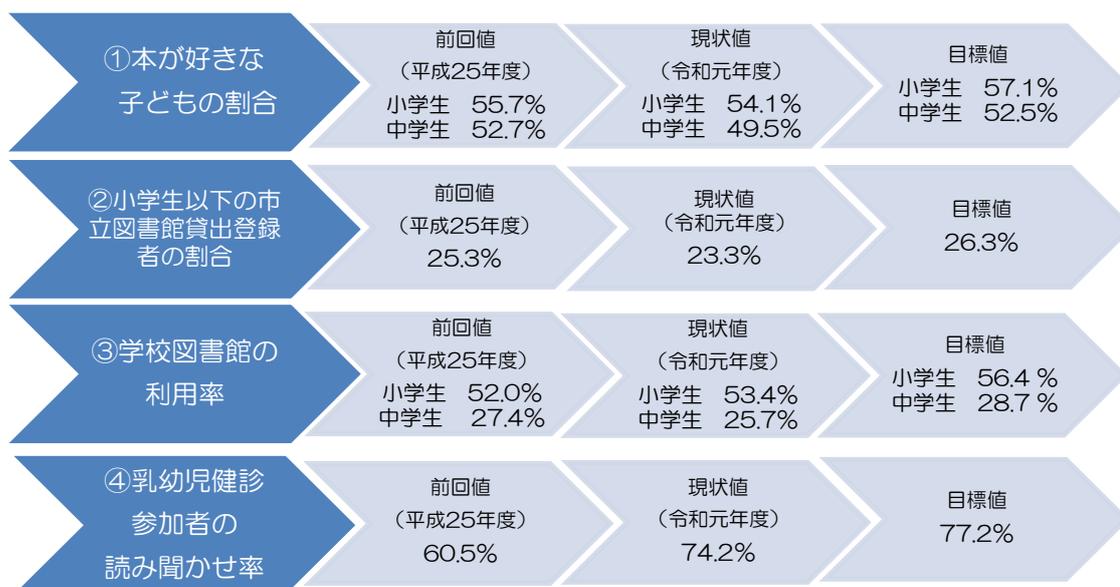
- 図書ボランティア参加の啓発
地域ぐるみで子ども読書活動を推進するため、ホームページなどを利用し、学校図書館ボランティア以外の地域の方々に、図書ボランティア活動への参加を呼びかけます。

- 郷土の民話及び三浦市ゆかりの詩の読み聞かせイベントの開催
子どもと保護者を対象に、夏休み等を利用して、三浦市の民話及び三浦市にゆかりのある詩の読み聞かせイベントの開催を行います。自然に郷土の民話や詩に興味を持ち、関連する書籍を読むきっかけとなることを目指します。

第 5 章 第三次計画の推進に向けて

5. 1 成果指標

本計画の推進にあたり、子どもの読書活動が効果的に推進されているかを、客観的に測るために、次のとおり「全項目3%増」を目標に、指標を設定します。



現状値について、指標の①、③、④は、『令和元年度 三浦市の子どもの読書実態調査』より引用。②は、登録者数／1月1日現在人口。登録者数は『神奈川の図書館 2020』より引用。

前回値は、①、③、④は『平成25年度 三浦市の子どもの読書実態調査』より引用。②は、登録者数／1月1日現在人口。登録者数は『神奈川の図書館 2014』より引用。

第三次三浦市子ども読書活動推進計画 スケジュール

(年度)

具体的方針	4	5	6	7	8	備考
1 家庭における子ども読書活動推進の取組						
(1) 乳幼児向け読み聞かせ講座の開催	◎				→	継続
(2) 乳幼児の保護者に対してブックリストの配布の継続	◎				→	継続
(3) 小中学生や親子を対象にした読み聞かせ講座の開催		◎		◎		新規
2 地域における子ども読書活動推進の取組						
(1) 継続した児童向けの本の購入	◎				→	継続
(2) YA(ヤングアダルト)コーナーの充実	◎				→	継続
(3) 児童向けの購入図書をホームページ「広げよう! 三浦の読書の輪」で紹介	◎				→	継続
(4) 「みうらっ子ライブラリー おはなし会」の開催	◎				→	継続
(5) 図書館へのブックリストの配架		◎		◎		継続
3 学校における子ども読書活動推進の取組						
(1) 学校図書館ボランティア向けの研修講座の開催	◎				→	継続
(2) 学校図書館ボランティアへの情報提供	◎				→	継続
(3) 学校図書館へのブックリストの配架及びリニューアル		◎		◎		継続
(4) 子どもたちがどういった本に興味をもっているかなどのアンケート調査の実施		◎		◎		継続
(5) 読書感想文及び読書感想画展覧会の実施						
・読書感想画展覧会の開催(中学生にも学校から働きかけてもらう)	◎				→	継続
・読書感想文展覧会の開催	◎				→	継続
4 その他の取組						
(1) 「ファミリー読書の日」、「子ども読書の日」、「文字・活字文化の日」及び「読書週間」に合わせた普及啓発活動の実施	◎				→	継続
(2) 図書ボランティア情報の提供		◎		◎		新規
(3) 図書ボランティア参加の啓発		◎		◎		新規
(4) 郷土の民話及び三浦市ゆかりの詩の読み聞かせイベントの開催		◎		◎		新規

※上記の取組経過について、社会教育委員会議の中で報告します。

「第三次三浦市子ども読書活動推進計画～広げよう！三浦の読書の輪～」

発行年月 令和 4 年 3 月

発 行 三浦市教育委員会

編 集 教育部文化スポーツ課

三浦市城山町 1 番 1 号 (〒238-0298)

電 話 046 (882) 1111 (内線 427)

F A X 046 (882) 1160

U R L <http://www.city.miura.kanagawa.jp/>